

令和4年 7月22日

令和2年国勢調査 従業地・通学地による 人口・就業状態等集計結果

令和2年10月1日現在で行われた国勢調査の従業地・通学地による人口・就業状態等集計の結果が、本日総務省統計局から公表されました。

この集計結果に基づき、埼玉県の概要を取りまとめました。

1 従業地・通学地別人口

(1) 総人口

埼玉県の総人口（常住人口）を従業地・通学地別割合で見ると、「自市区町村（自宅）」が4.0%、「自市区町村（自宅外）」が20.6%、「他市区町村（県内）」が15.7%、「他市区町村（県外）」が13.9%となっている。

(2) 流出人口

総人口のうち「他市区町村（県外）」（流出人口割合）をみると、埼玉県は13.9%であり、都道府県別流出人口割合の順位が1位である。

他県で従業・通学する人数をみると、埼玉県は神奈川県に次いで全国で2番目に多い1,020,437人である。

(3) 流入人口

他の都道府県に常住し、埼玉県に従業・通学している者は257,250人で、全国で4番目に多い。

2 昼夜間人口

(1) 都道府県

埼玉県の昼夜間人口比率は89.6で、前回調査に引き続き全国で最も低いものの、0.7ポイント上昇している。（100を下回っているときは、昼間人口が夜間人口を下回っている。）

(2) 市町村

埼玉県内で昼夜間人口比率が最も高いのは三芳町の114.3であり、最も低いのは富士見市の75.4である。

3 埼玉県の国勢調査に関するホームページアドレス

埼玉県総務部統計課のページ「彩の国統計情報館」「令和2年国勢調査」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a001/2020kokutyou.html>